

第5次男女共同参画ハーモニープラン改定（案） 第1回審議会からの主な変更点

1 審議会のご意見を受けての修正

NO.	ご意見	変更点
1	<p>・女性の抱える問題の多様化について、社会や家族関係の変化、新型コロナウイルスの影響など複数の要因が挙げられているが、因果関係や変化の具体的内容が分かりづらい</p>	<p>P1 改定の趣旨に、法律の規定だけではなく、社会的な課題についての記述も追加しました。</p>
2	<p>・困難を抱える人を減らすための予防策についても、社会状況といった抽象的な表現にとどめるのではなく、背景の複雑性を丁寧に分析・調査する必要があると感じた。多角的な視点からの対応を検討すべきである。</p> <p>・現在の議論は主に支援やアフターケアに焦点が当たっているように感じられるが、支援施策とあわせて就労環境の整備や人材育成等、困難の予防につながる視点もバランスよく議論がなされることを望む。</p>	<p>P36 ≪女性が抱える問題の複雑化と制度改正への対応≫の冒頭に、次の内容を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、誰もが自分らしく活躍できるまちづくりを推進していること。 ・男女共同参画の視点からは、性別に関わらず安全・安心に暮らせる環境を目指し、女性が困難な状況に陥ることを予防するため、女性の就労・再就職支援やキャリア教育の推進、暴力防止のための人権教育など、様々な分野で取組みを進めていること、 ・しかし、現実には困難な問題を抱える女性が存在していることから、そうした困難に対応し、支援を行う必要があること。
3	<p>・困難を抱える女性を支援するにあたっては、支援の対象となる女性が様々な背景をもつことを踏まえたうえで、包括的な支援を行うことが重要であることを明確に記述してほしい。</p>	<p>P37 ≪女性が抱える問題の複雑化と制度改正への対応≫の文中に、次の内容を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>それぞれが持つ多様な背景を踏まえたうえで、市内の生活困窮者支援担当部署や母子福祉、障害者福祉等の関係各課やその他関係機関のほか、民間支援団体とも連携を深め、包括的に支援することが必要であること。</u>

2 背景等情報の時点修正（主なもの）

NO.	修正点
1	P3 合計特殊出生率の数値、グラフの更新
2	P4 平均初婚年齢の数値、グラフの更新
3	P10 ジェンダー・ギャップ指数順位等の更新
4	P11 国の動き 「女性活躍・男女共同参画の重点方針」の更新
5	P12 県の動き 「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」施行に関する記述を追加